

大豆新品種「とよまどか」栽培試験（3年目）

1. 目的

帯広市地域における大豆新品種「とよまどか」の品種特性や栽培適性について、検証及び普及啓蒙を図る。

2. 実施場所

帯広市川西町 帯広市農業技術センターほ場

3. 栽培方法

(1) 品種 : 「とよまどか」

(2) 面積および区制

畦幅 70cm×4 畦×18m、1 区面積 50.4 m²

(3) 耕種等概要

土壌区分	土性	前作	栽植密度	栽培方法
沖積土	壤土	にんにく	70cm×20cm	露地

(4) 施肥・防除

土改資材 (kg/10a)	施肥量(kg/10a)						防除回数	
	施肥時期	肥料名	窒素	リン酸	加里	苦土	病害	虫害
炭カル 60kg	基肥 5/14	豆用1号 60kg	1.8	15.0	7.8	2.72	2	2

4. 試験結果

(1) 生育概況

播種は5月12日に行った。出芽期は5月21日で出芽揃いは良かった。6月以降、多雨、日照不足天候ではあったが高温に経過したため生育、開花等は順調に進み、開花期は7月11日で前年より1日早かった。その後も多雨、日照不足が続いたことから茎長は徒長し、登熟は遅れ気味となり、成熟期は9月22日で前年より4日遅かった。7月28日の茎長が99cmとかなり高く、その時点ですでに一部倒伏が発生し、その後も徒長が続き9月21日の茎長は124cmで、倒伏は全面的に多発生となった。9月27日刈り取り、島立ての後、10月19日に脱穀した。着莢数はやや少なかった。

(2) とよまどかの収量性

10a 当たり収量は 382kg で前年より大きく低下したが、一昨年と同レベルであった。百粒重は 36.6g (前年対比 107%) で前年より大きかった。品質は倒伏の発生や秋の大雨等によりやや品質低下がみられた。

参考：生育調査・収量調査等のデータ

① 生育及び作業ステージ

品種	播種月日	出芽期	開花始	開花期	成熟期	収穫月日
とよまどか	5/12	5/21	7/10	7/11	9/22	9/27
参考：同品種 R3 年	5/14	5/25	7/11	7/12	9/18	9/27
参考：同品種 R2 年	5/15	5/29	7/14	7/16	10/2	10/6

② 生育調査

品種	7月28日調査		9月21日調査	
	茎長(cm)	葉数(枚)	茎長(cm)	1株当り着莢数(個)
とよまどか	99.1	11.5	124.1	74.6
参考：同品種 R3 年	79.8	8.8	79.8	108.7
参考：同品種 R2 年			76.5	105.1

③ 収量調査

品種	子実重 (kg/10a)	対比 (%)	百粒重 (g)	わい化病 株率(%)	倒伏 程度	品質
とよまどか	382.0	102.0	36.6	0	多	3等
参考：同品種 R3 年	528.0	140.8	34.1	0	微	1等
参考：同品種 R2 年	375.0	100.0	37.8	1	微	良

5. 考察

6月以降の高温、多雨、曇雨天、日照不足等の天候下の中、「とよまどか」は茎長が非常に徒長し、7月下旬頃から倒伏の発生があり、品質の低下がみられた。3カ年の試験栽培で初めての倒伏発生であった。「とよまどか」の過繁茂・倒伏は、前作のにんにくが土壤凍結により大半の株が枯死したため、にんにくの施肥量が大量に残り、肥料過多になったことが一因と考えられる。

3カ年の試験結果から、わい化病の発生がなく、収量性も高いことから、通常一般的な基本技術を行うことで、当地域において有望品種と判断される。

○大豆とよまどかの生育経過



初生葉展開期 6.2



開花期頃の生育 7.13



倒伏の発生が見られる 7.28



茎長 120cm で全面的に倒伏発生 8.26